

# 南房総市定例記者会見

日時 平成29年6月29日（木）

午前10時30分

場所 市役所本庁舎 本館 応接室

## 【会見項目】

- （1）「ゆう活」を昨年度に引き続き実施 〈P 1〉
- （2）「南房総白浜海女まつり」と「まるぐる17in 南房総」がコラボし3日間開催へ 〈P 5〉
- （3）個人住民税の特別徴収税額通知を電子化して提供 〈P 8〉
- （4）親しみやすい公民館活動を支える生涯学習推進員 〈P 11〉
- （5）南房総市スポーツ合宿誘致実績 昨年度と比較し33%増 〈P 12〉
- （6）市学力調査6年目、分析結果を指導改善に役立てる 〈P 18〉
- （7）夏休みの預かり保育室で給食の提供をスタート 〈P 19〉
- （8）トップスリーはすべて女性！和田小学校 〈P 20〉
- （9）教育相談センター スタートから3カ月 〈P 21〉

## 【その他 資料提供】

7月行事およびイベント情報

南房総市長の資産公開

南房総市総務部秘書広報課

TEL0470-33-1002・FAX0470-20-4591

## 定例記者会見 平成29年6月29日 開催

### 会見項目No. 1

#### 「ゆう活」を昨年度に引き続き実施

南房総市では、7月・8月の毎週水・金曜日に、仕事を早めにはじめて早めに終える「ゆう活（夏の生活スタイル変革）」を昨年度に引き続き試験的に実施します。

これは、国が実施を呼びかけている「ゆう活（夏の生活スタイル変革）」に対応する取組みで、まだ明るい夕方の時間を有効に活用し、生活を豊かにしようとするものです。長時間勤務の解消やワークライフバランス（仕事と生活の調和）の実現をはじめとして、業務の効率化や職員の士気向上を通じて行政サービスの維持・向上を推進することなどを狙いとして実施します。

「ゆう活」を希望する職員は1時間または30分繰り上げて勤務を開始、繰り上げて勤務した時間に応じて早く退庁します。

交代制やシフト制勤務の職員や朝型勤務を実施することが困難な職員を除き、全ての職員を対象としています。

窓口業務は、従来どおり午前8時30分から午後5時15分まで行い、「ゆう活」を実施する職員数についても、業務に支障のない程度にするよう所属長が指示することとし、当日は原則として時間外勤務を行わないようにします。

この取組により、職員自身が効率的な仕事の進め方や長時間勤務の解消、仕事と生活の調和の必要性について考えるきっかけになることを期待しています。

【参考情報】別紙「ゆう活（夏の生活スタイル変革）」の実施について

【問い合わせ】

南房総市 総務部 総務課 人事給与グループ 担当者：瀧澤・押元  
電話：0470-33-1025 F A X：0470-20-4598  
e-mail アドレス：jinkyu@city.minamiboso.lg.jp

## 定例記者会見 平成29年6月29日 開催

### 会見項目No. 2

#### 「南房総白浜海女まつり」と「まるぐる 17in 南房総」がコラボし3日間開催へ

「第53回 南房総白浜 海女まつり」と「復興支援イベント まるぐる17in 南房総」が下記のとおり同時開催されます。

地域経済の低迷や人手不足により規模を縮小しての開催も検討されましたが、クラウドファンディングを活用した資金集めが目標額に達するなど、多くの方々の支援により昨年同様の3日間開催に漕ぎ着けました。

集まった資金は、花火の打ち上げや提灯の製作、ステージ音響の設置、ポスターやチラシの制作費用等に充てられます。

入場は無料で、「海女の大夜泳」は15日と16日、『大綱引き「大綱武士絵巻」』が17日に行われます。

#### ○開催日時

平成29年7月15日(土)・16日(日)・17日(月) 正午から午後9時まで

#### ○開催会場

南房総白浜野島埼灯台前広場 まるぐる特設会場

#### ○主な内容

まるごみ賛同アーティストのライブ

和太鼓フェスティバル「情熱白浜太鼓祭り」

150メートルの大綱引き「大綱武士絵巻」

被災地から「復興支援ブースの出店」

千葉県最南端がアイドルの聖地に！ IDOL WONDERLAND in SHIRAHAMA の開催 など

#### 【参考情報】 イベントチラシ

#### 【問い合わせ】

南房総市 総務部 観光プロモーション課 観光振興係 担当者：平川  
電話：0470-33-1091 F A X：0470-20-4230 e-mail：kanko@city.minamiboso.lg.jp

## 定例記者会見 平成29年6月29日 開催

### 会見項目No. 3

#### 個人住民税の特別徴収税額通知を電子化して提供

現在、南房総市では、地方税ポータルシステム（eLTAX）を通じて、電子署名を付与しない特別徴収税額通知データを特別徴収義務者（事業者）の方に提供しています。当該データは、法的効力がないため、書面の通知書を正本、電子データの通知書を副本として2種類の通知書を提供しています。

平成30年5月からは、法的効力のある電子署名を付与した特別徴収税額通知を電子データで提供します。

この特別徴収税額通知を利用することで、事業者の方は、マイナンバーの記載された書面による受取りの必要がなくなるため、保管スペースが削減され、パスワード付きの電子データで情報を管理できるため、特定個人情報が保護されるなどのメリットがあり、これまでの作業が省力化されます。

この特別徴収税額通知の受け取りを希望される事業者は、eLTAXで給与支払報告書を提出する際に、受取方法を、「電子データ」と選択し、受け取り先のメールアドレスを設定する必要があります。

eLTAXは事業者の方にとっても、大変便利な地方税窓口です。今後も更に利用される事業者が増加されることを期待し、サービスを提供します。

#### 【参考情報】別紙 個人住民税の特別徴収税額通知について

##### 【問い合わせ】

南房総市 市民税活部 税務課 市民税係 担当者：小藤 真由美  
電話：33-1023 FAX：33-3451  
e-mail アドレス：zeimu@city.minamiboso.lg.jp

## 定例記者会見

平成29年 6月29日 開催

### 会見項目No. 4

## 親しみやすい公民館活動を支える、生涯学習推進員の活動について

南房総市では市民の皆様に、より多くの生涯学習の機会を提供するため、様々な公民館講座を開催しています。当市独自の取り組みとして行われている、生涯学習推進員について紹介します。

生涯学習推進員は、公民館講座の企画・運営に当たって頂いている方で、平成24年度より市内の一部で実施し、平成25年度より市内の7地区で活動し、現在36人が、それぞれの地区で生涯学習推進員講座を開催しています。

生涯学習推進員がそれぞれに、知識、経験、人脈、普段接する住民の声などを生かしながら自主的に企画します。講師の選定なども行い、当日も講座を運営します。

平成28年度では市内の公民館講座全体では85講座を開催、3,528人の参加者がありましたが、そのうち生涯学習推進員企画講座は、42講座を開催、1,191人の方が参加するなど、いまでは南房総市の公民館活動にはなくてはならない重要な役割を担って頂いています。

生涯学習推進員の企画講座は郷土の歴史や、健康づくり、料理体験など多彩な内容で開催されています。現在企画中または、募集中の講座の企画の例を紹介します。

|      |                            |             |
|------|----------------------------|-------------|
| 富浦地区 | かみしばいフェスティバル「懐かしい紙芝居の世界！」  | 8月23日       |
| 富山地区 | 丸山地区 賀茂神社「加茂の三番叟・花踊」見学     | 8月 1日       |
| 三芳地区 | 手打ち蕎麦体験教室 ～美味しい！ 簡単？～      | 8月 7日       |
| 白浜地区 | ボイストレーニング講座「特集 鉄道の歌&ミニ鉄道展」 | 8月 9日       |
| 千倉地区 | みんなで踊ろう納涼会 「千倉音頭で踊ろう」      | 8月19日       |
| 丸山地区 | カイロプラクティック入門講座             | 7月13・20・27日 |
| 和田地区 | アイスコーヒーの淹れ方教室 ～より美味しい一杯を～  | 8月 4日       |

#### 【参考情報】

##### 【問い合わせ】

南房総市 教育委員会 生涯学習課 丸山公民館 担当者： 野中祐介  
電話：0470-46-4031 FAX：0470-46-4339  
e-mail アドレス：[ma-kominkan@city.minamiboso.lg.jp](mailto:ma-kominkan@city.minamiboso.lg.jp)

## 定例記者会見

平成29年6月29日 開催

### 会見項目No. 5

#### 南房総市スポーツ合宿誘致実績 昨年度と比較し 33%増

南房総市では「スポーツのまちづくり基本計画」を策定し、スポーツを通じて市民の健康づくりや地域コミュニティの醸成を図るとともに、既存の社会体育・学校施設を活用したスポーツ合宿誘致による宿泊産業の活性化を図っています。

平成28年度の市の施設を利用したスポーツ合宿利用者数は、平成27年度と比較し、33パーセント増加、52,496人となりました。

増加した主な要因としては、

- ・地元宿泊者への夜間開放や学校施設開放の拡大
- ・施設の大規模改修（平成26年度丸山体育館、平成27年度富浦体育館）
- ・インターネットを活用した施設の空き状況照会など合宿情報の発信強化
- ・市内宿泊者に限定した施設使用料の減免措置
- ・短期交流試合を組み込んだスポーツ合宿の企画実施

などに取り組んだことが考えられます。

今後は、既存のコミュニティセンターを活用して新たに文化合宿の需要を取り込むなど誘致活動の幅を広げ、既存スポーツ施設の有効活用と機能強化に努め、増え続ける高齢者を意識した市民の健康づくりとスポーツを通じた交流人口を増やすため、スポーツ振興施策を加速していきます。

【参考情報】別紙「南房総市スポーツのまちづくりに係るスポーツ合宿誘致の実績」

【問い合わせ】

南房総市 教育委員会事務局 生涯学習課 スポーツ振興係 担当者：南部・水野

電話：0470-46-2964 FAX：0470-46-4059

e-mail アドレス：shogai@city.minamiboso.lg.jp

## 定例記者会見

平成29年 6月29日 開催

### 会見項目No. 6

#### 市学力調査6年目、分析結果を指導改善に役立てる

南房総市では、学力調査を4月12日に市内8小学校、6中学校で一斉に実施、小学生では国語と算数、中学生は国語と数学・英語（中1は国語と算数のみ）を調査しました。各学年の平均正答率は下記のとおりでした。

| 小学校     | 2 年  |      | 3 年  |      | 4 年  |      | 5 年  |      | 6 年  |      |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|         | 国語   | 算数   | 国語   | 算数   | 国語   | 算数   | 国語   | 算数   | 国語   | 算数   |
| 全国平均    | 80.8 | 84.3 | 79.7 | 77.1 | 70.3 | 74.5 | 74.1 | 70.9 | 74.7 | 69.5 |
| 市平均     | 81.6 | 84.8 | 82.6 | 80.8 | 76.3 | 75.8 | 78.6 | 72.6 | 75.7 | 73.7 |
| 全国平均との差 | +0.8 | +0.5 | +2.9 | +3.7 | +6.0 | +1.3 | +4.5 | +1.7 | +1.0 | +4.2 |

| 中学校     | 1 年  |      | 2 年  |      |      | 3 年  |      |      |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|         | 国語   | 数学   | 国語   | 数学   | 英語   | 国語   | 数学   | 英語   |
| 全国平均    | 68.6 | 68.4 | 72.0 | 60.4 | 60.4 | 69.5 | 58.1 | 59.7 |
| 市平均     | 73.2 | 74.7 | 76.1 | 61.5 | 59.6 | 70.7 | 55.0 | 64.2 |
| 全国平均との差 | +4.6 | +6.3 | +4.1 | +1.1 | -0.8 | +1.2 | -3.1 | +4.5 |

中学校2年生の英語で若干、中学校3年生の数学で3.1ポイント全国平均を下回りましたが、他の学年教科はどれも、全国平均正答率を上回りました。

学力調査は平成24年度から導入しており、各学校、学年ごと同集団の6年分の経年変化を分析し各学校へ提供、学校ごとに細かく結果を分析し、児童生徒の弱点補強はもちろん、教員の授業改善に役立てる予定です。

#### 【参考情報】

##### 【問い合わせ】

南房総市教育委員会子ども教育課教育係 担当者：鈴木 康代  
電話：0470-46-2966 FAX：0470-46-4059  
e-mail アドレス：yasuyo.suzuki@city.minamiboso.lg.jp

## 定例記者会見 平成29年6月29日 開催

### 会見項目No. 7

#### 夏休みの預かり保育室で給食の提供をスタート

今年度から、子ども園の預かり保育室（市内4か所）で、夏休みに給食の提供を始めます。

預かり保育室とは、幼稚園の登園前・降園後及び長期休業中に、家庭での保育を受けることができない園児を預かることにより、子育てと就労の両立を図ることができるよう支援するものです。

南房総市では、子どもを持つ親の就労形態や幼児教育に対するニーズの多様化に対応するため、就学前の教育・保育を一体のものとして捉え、一貫して提供する体制を構築し、幼児教育・保育・子育て支援を総合的・一体的に支援する子ども園（幼保一体施設）の整備を推進しています。

今春開園した4か所目となる「富山子ども園」を含め、南房総市の子ども園は、保育所と幼稚園が一体となっているため、自園給食を行っています。

これまで夏休みの預かり保育室はお弁当持参でしたが、保育所は幼稚園が夏休みでも開所し、給食も提供していることから、子ども園ならではのメリットを活かし、今年度から夏休み期間中の預かり保育室でも給食の提供を始めることとしました。

給食費は、毎日コース利用の場合7,250円、週3コース利用の場合4,500円です。

給食の申込状況は、毎日コース76人、週3コース36人、計112人です。夏季休業中の預り保育室利用予定者159人のうち、約70%の保護者から給食の申し込みがありました。

保護者からは、「働きながら毎朝お弁当を作るのは大変だったが、作る時間が無くなるので、その時間を子どもたちに注ぐことができる。」との声がありました。

#### 【参考情報】

##### 【問い合わせ】

南房総市 教育委員会 子ども教育課 教育係 担当者：川名由希子  
電話： 0470-46-2966 FAX：0470-46-4059  
e-mail アドレス：kodomo@city.minamiboso.lg.jp

## 定例記者会見 平成29年6月29日 開催

### 会見項目No. 8

#### トッブスリーはすべて女性！和田小学校

男女共同参画社会と云われていますが、教育現場でも女性管理職を積極的に配置しようという動きが高まっています。しかし、現状では、教育界における女性管理職の占める割合はまだまだ少なく、市内14校においても、校長職は2名（南小・和田小）、教頭職は3名（三芳小・千倉小・和田小）で全体の18%という状況です。参考までに、女性教務主任は14校中2名（富浦小・和田小）です。

そうした中であって、和田小学校は、校長、教頭、そして教育計画の立案などを担当する教務主任がすべて女性の学校です。まさに、女性が学校づくりの中心となっている学校です。女性ならではの細やかな目配りや気配りを生かした学校経営がなされています。また、この3名は、女性職員にとっては同性として、男性職員にとっては姉や母として、仕事だけでなくプライベートの面でも相談しやすく、職場内の良好な人間関係づくりや働きやすさの面でさまざまな効果を発揮しています。先生方一人ひとりの心の安定が子どもたちの安心感を生み、質の高い教育の提供につながっていると考えます。

また、保護者からは児童のことについて、「気軽に相談できる。」「丁寧に対応してくれる。」等の声をいただいております。さらに、奉仕活動等で男手が必要なときは、地域の方々が積極的に協力してくれています。

#### 【参考情報】

##### 【問い合わせ】

南房総市 教育委員会 子ども教育課

担当者：安田道明

電話：0470-46-2966

FAX：0470-46-4059

e-mail アドレス：kodomo@city.minamiboso.lg.jp

## 定例記者会見

平成29年 6月29日 開催

### 会見項目No.9

#### 教育相談センター スタートから3ヵ月

教育相談センターを4月に発足させてから3ヵ月が経ちました。これまで、支援業務を行いながら新組織の体制整備を進めてきました。新体制による支援の成果を実感できる事例や新たに適応指導教室を設置するなど順調なスタートが切れたと考えています。体制の基盤整備を終える見通しが立ちましたので、今後は新たな支援方法の開拓と関係機関との連携強化に力を入れていきます。

以下、3ヵ月の状況などの概要を申し上げます。詳細は別紙資料をご参照ください。

まず、支援業務の対応回数ですが、電話相談204回、面談132回などとなっています。昨年度と異なる体制での業務のため、統計上の数的比較はできませんが対応回数は明らかに増えています。

受け付けた相談の一例を挙げると、母親から「育児について家族の協力が得られず困っている」「子どもの発達が気になる」などがありました。

次に、適応指導教室『スマイル』を設置しました。適応指導事業では、不登校児童生徒を対象に学校以外の場での学習支援を行っています。また、それに伴い『出席の取り扱いに関する要綱』も制定しました。

本市では、保護者や児童への「早期対応」を重視していますが、発達障害や育ちに心配のある児童への対応を今まで以上に職員間で連携して行っています。

教育相談センターの体制づくりに際しては、受付手順を明確化したり、対応状況を一元管理したりするなど、工夫して進めました。

この3ヵ月で「家から出られなかった子が公的施設に出向き面談できるようになる」など、成果が実感できる事例がいくつかあります。

今後は、子育て支援センターや保健福祉部との連携を強化することに力を入れていく方針です。

#### 【参考情報】 別紙資料

##### 【問い合わせ】

南房総市教育委員会子ども教育課支援係

担当者：鈴木 智

電話：0470-46-2966

FAX：0470-46-4059

e-mail アドレス：satoshi.suzuki@city.minamiboso.lg.jp